



外国出張報告書

平成27年 8月 24日

1. 出張国名 タイ
2. 出張月 平成27年7月
3. 出張目的 東北タイにおける低適性土壌改良試験に係る現地測定：C

4. 成果の概要

コンケンにおいて進めている、保水性の低い砂質土壌の苗畑に土壌改良資材（ベントナイト・炭）を添加してチーク苗を植栽する試験について、今回の出張では雨季のチークの成長と光合成速度、水利用特性に関する測定を行った。その結果、2015年2月と5月の測定結果と比較して高い土壌含水率を示し、光合成速度は午後に入っても高い値を維持していることが分かった。また、明け方の水ポテンシャルは高い値を示し、水ストレスは受けていなかった。処理区間で比較すると、成長については、炭のみを添加した処理区で樹高と根元の直径が大きな値を示した。また、肥料とベントナイトを添加した処理区では、5月時の測定と比較して大きく成長し、高い光合成速度を示し、葉のクロロフィル濃度の指標であるSPAD値も高かった。この処理区では、翌年の雨季に入ってから、実験開始時に添加した施肥の効果が現れ、窒素を吸収したことによって高い光合成速度とSPAD値を示したと推察される。